

小児集中治療室における褥瘡予防のケアの効果

1. 研究の対象

褥瘡予防ケア導入前の2017年4月～9月末、褥瘡予防ケア導入後の2018年4月～9月末にICU2に入室された方のうちICU2に入室した患者のうち日本褥瘡学会が挙げている褥瘡ハイリスク項目のうちICUで算定されている手術時間6時間以上の患者、手術中の体位が特殊体位の患者、もしくはICU入室期間が7日以上の方

2. 研究目的・方法

研究目的：小児集中治療室入室中の小児の褥瘡予防について検証する。

研究期間：2018年12月25日～2019年7月6日

調査方法：診療録（電子カルテ）調査

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者の基本属性(性別、年齢、身長、体重)、診療科、疾患名、挿管の有無・挿管期間、補助循環装置の有無、術後開胸の有無、体位制限、安静度

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：大阪市都島区都島本通2丁目13番22号

電話：06-6929-1221

研究責任者：地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

ICU2病棟 氏名：並木 友里絵